

高等学校 第2学年英語科 学習指導案

1 学年 第2学年（2年〇組 10名，2年8組 11名 合計 21名）

2 科目名 ライティング

3 単元名（教科書名） L. 14 弟の夢は甲子園
（桐原書店 World Trek English Writing）

4 単元について

○ 教材観・題材観

この単元は、中学校で既習の不定詞の名詞的用法と形容詞的用法を用いて、スポーツについて表現する内容になっている。文法事項については、中学校で既習である部分と、高校1年生で学んだ部分がある。L15, 16, 17でも引き続き、不定詞を扱うので、基本事項の復習、確認という意味で、知識の定着を図る。2年生なので、部活動生にとって興味のある題材であり、日常生活を表現するのに有効である。自己表現については、運動部以外の生徒、部活動に入っていない生徒に対して配慮した課題も用意する。

○ 生徒観（生徒の状況）

クラスは、2年〇組と2年8組の看護希望の生徒で構成されている。英語に対して苦手意識をもっている生徒が多い。1年生で学習した、文法事項もあまり定着していない。しかし、課題や宿題はきちんとこなしている。授業中に発言は少なく、質問もしないので、積極的に参加させる工夫が必要である。部活動の加入状況は、運動部10名、文化部2名、未加入9名である。

○ 指導観（主な支援）

始めに自己紹介を兼ねて、不定詞の文章に意識を向けさせる。いくつ不定詞が出てくるかをクイズ形式で問いかけ、授業への参加を促す。教科書の例文は、コーラスリーディングで声を出すように指導し、英語の発音に注意を向けさせる。文法項目についても、復習をいれることによって、基礎的な知識を確認した後、自分で考えたり、ペアで教え合ったりする活動につなげる。さらに、教科書の例文などを参考にしながら、自己表現の活動をする。

5 単元の目標

- ・音読，ペアワークなどの活動に積極的に取り組み，コミュニケーションを図ろうとする。
- ・伝えたい情報を英語で正しく書いたり，正しいリズムやイントネーションで音読したりすることができる。
- ・リスニングで，話される英語の内容を理解することができる。
- ・英語の学習を通して，言語やその運用，特に不定詞の名詞的用法，形容詞的用法の知識を身に付け，理解できる。

6 単元の時間数 2時間

7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<p>① 音読，練習問題，ペアワークなどの活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>② 文法や綴りの間違いを恐れずに，自分の好きなスポーツなどに関する英文を書こうとしている。</p>	<p>① 正しいリズムやイントネーションで音読することができる。</p> <p>② スポーツなどに関する話題で，不定詞を使い，簡単な自己表現ができる。</p>	<p>① 語句や文法の知識を活用して，リスニングの英文の内容を正しく理解することができる。</p>	<p>① 不定詞の名詞的用法の意味と，文中における3つの働きを理解し，判別することができる。</p> <p>② 不定詞の形容詞的用法の意味と，被修飾語が to 不定詞の意味上の主語，目的語，同格になる場合があることを理解し，判別することができる。</p>

8 計画（2時間）

時	学習活動・内容	指導内容・留意点	評価規準 (評価方法)
1	<p>1 不定詞の形と用法と意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名詞的用法「～すること」 ・形容詞的用法「～するための」 ・副詞的用法「～するために」 <p>2 不定詞の名詞的用法の文中での働きを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語になる場合 ・補語になる場合 ・目的語になる場合 ・目的語と補語の違い <p>3 不定詞の形容詞的用法が修飾する名詞や代名詞が，to 不定詞の意味上の主語や，意味上の目的語になったり，同格を表すことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介文の中に，不定詞を使った文を入れ，何回出てくるかを，クイズ形式で問い，興味を出させる。 ○ 中学や1年生で学習した，基本的な項目を確認しながら，思い出させる。 ○ 教科書の例文を音読し，名詞的用法が，文中でどんな働きをしているか考えさせる。 ○ 目的語と補語の見分け方を例文で，簡単に説明する。 ○ 教科書の例文を音読し，被修飾語と to 不定詞の意味上の関係を，不定詞を使わない表現に直して理解させる。 	<p>関心① (様相観察)</p> <p>理解① (発言チェック)</p> <p>知識① (発言チェック)</p> <p>表現① (様相観察)</p> <p>知識② 表現① (様相観察)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・意味上の主語になる場合 ・意味上の目的語になる場合 ・同格の関係になる場合 	<p>They need <u>someone to coach</u> them.</p> <p>→ <u>someone coaches</u> them</p> <p>The team has <u>many goals to achieve</u>.</p> <p>→ <u>achieve many goals</u></p> <p>She has <u>a dream to be</u> an actress.</p> <p>→ <u>a dream = to be</u> an actress</p>	
2	<p>4 リスニングの問題をCDで聞き、不定詞の文章が使われた英文の意味を聞き取る。</p> <p>5 プラクティスをペアで解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名詞的用法なら、文中でのはたらきを、形容詞的用法なら、被修飾語との意味上の関係も答える。 <p>6 自己表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツなどに関する英文を、不定詞を使いながら書く。 ・名詞的用法の主語・補語・目的語の働きをする文をそれぞれ1文ずつ、形容詞的用法を含む文を1文使って英作する。 	<p>○ リスニングのコツとして、聞く前に答えの選択肢に目を通してから、キーワードに着目して聞くようにさせる。</p> <p>○ 不定詞の形だけでなく、名詞・形容詞的用法のそれぞれの細かい働きや、意味上の関係をペアで教え合いながら確認させる。</p> <p>○ 身近な題材になるように、運動部以外の部活のことや、スポーツをしている友人のこと、体育の授業のことに主題を広げる。</p> <p>○ 授業で学習したことを、自己表現の中で生かす工夫をさせる。文と文の意味のつながりを考えながら、分かりやすい英文にする。</p> <p>○ 終わらなければ次時までの宿題とする。</p>	<p>理解① (発言チェック)</p> <p>関心① 知識①② (様相観察)</p> <p>表現② 関心② 知識①② (プリントチェック)</p>

9 本時の展開

配時	学習活動・内容	指導内容・留意点	評価規準 (評価方法)
0～5分 (5分)	<p>① 出欠確認</p> <p>② 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の中に不定詞の文が、何度出てくるのか聞き取る。 	<p>○ 本時の導入として、自己紹介の中に不定詞の文を入れ、何度出てくるのか聞き取らせる。</p> <p>○ 生徒が聞き取りやすいように、速度に留意する。</p>	<p>関心① (様相観察)</p> <p>理解① (発言チェック)</p>

<p>5～15分 (10分)</p>	<p>① 不定詞の3つの用法と意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名詞的用法「～すること」 ・形容詞的用法「～するための」 ・副詞的用法「～するために」 <p>② Starting Out の例文を音読する。</p> <p>③ 不定詞の用法をペアで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートか教科書に用法を書き込ませる。 <p>④ 答え合わせをする。</p>	<p>○ 大きな声で Chorus Reading をさせる。一文を適切な場所で切って読む。声が出ていないときは、もう一度繰り返す。</p> <p>○ ペアの話し合い状況を見回る。</p> <p>○ ペアで考えた不定詞の用法を確認させる。</p>	<p>関心① (様相観察) 理解① (発言チェック)</p>
<p>15～35分 (20分)</p>	<p>① 不定詞の名詞的用法を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文中で名詞と同じ働きをすることを確認する。 ・文中で主語の働きをする場合 ・文中で補語の働きをする場合 ・文中で目的語の働きをする場合 ・補語と目的語の違い <p>I am <u>a student</u>. (補語)</p> <p>I like <u>tennis</u>. (目的語)</p> <p>② 不定詞の形容詞的用法を復習する。</p> <p>不定詞の形容詞的用法が修飾する名詞や代名詞が、to 不定詞の意味上の主語や、意味上の目的語になったり、同格を表したりすることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味上の主語になる場合 <p>They need <u>someone to coach</u> them. → <u>someone coaches</u> them</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味上の目的語になる場合 <p>The team has <u>many goals to achieve</u>. → <u>achieve many goals</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同格の関係になる場合 <p>She has <u>a dream to be an actress</u>.</p>	<p>○ プリントと板書で不定詞の用法と不定詞の働きを確認する。</p> <p>○ 文の要素と文型も合わせて考えさせる。</p> <p>○ 補語と目的語の違いを例文を使って説明する。</p> <p>○ 主語とイコールの関係になるのが補語で、ならないのが目的語であることを説明する。</p> <p>○ 名詞的用法とは違い、不定詞自体ではなく、被修飾語が不定詞の意味上の主語や目的語になっていることを明確にする。被修飾語と to 不定詞の意味上の関係を、不定詞を使わない表現に直して理解させる。</p> <p>○ 被修飾語が「『～が』to 不定詞する」という関係になっていることを説明する。</p> <p>○ 被修飾語が「『～を』to 不定詞する」という関係になっていることを説明する。</p> <p>○ 上記の2つのどれでもなく、不定詞を「～という」と訳すことができるこ</p>	<p>知識① (発言チェック) 表現① (様相観察)</p> <p>知識② (発言チェック) 表現① (様相観察)</p>

	<p>「女優になるという夢」 → <u>a dream</u> = <u>to be</u> an actress</p> <p>③ Starting Out の不定詞の働きを全体で確認する。</p>	<p>とを説明する。</p> <p>○ 教科書に例文がないので、例として同格になる文を1文挙げる。</p>	
35～50分 (15分)	<p>① Focus 27 の例文を音読し、不定詞が文中で何の働き(主語、補語、目的語)をしているか考える。</p> <p>② ①～③の答えと文中での働きを答える。</p> <p>③ Focus 28 の例文を音読し、不定詞が何を修飾し、被修飾語が不定詞とどのような関係になっているのか考える。</p> <p>④ ①、②の答えと被修飾語と不定詞の関係を答える。</p>	<p>○ クラス全員に問いかけ、答えを引き出す。</p> <p>○ 文法復習のプリントと板書で確認しながら、答えを引き出す。</p> <p>○ 個人を指名して、答えさせる。</p> <p>○ 答えが出ない場合は、板書の説明を見ながら、ヒントを与える。</p> <p>○ Focus 27 と同様に進める。</p> <p>○ 形容詞的用法の違いを例文で具体的に確認する。</p>	<p>関心① (様相観察)</p> <p>表現① (発言チェック)</p> <p>理解① (様相観察)</p>